

第 87 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 27 年 12 月 2 日(水)、3 日(木)

姫路商工会議所（低温工学・超電導学会 展示会場）

2. 来訪者： 30 名程度

3. 説明概要：

低温工学・超電導学会 展示会場において、ITER に関するポスターを展示し、来訪者に ITER に関する資料を配布し、ITER 計画について説明及び ITER 機構職員募集を行った。

（ITER 計画管理グループ 布谷、齋藤）

4. 主な Q&A

Q: ITER 機構と那珂核融合研究所の関係を教えてください。

A: ITER 機構は、所謂 ITER 協定という国際条約により設立された国際機関です。ITER 協定は、日欧米露中韓印の 7 つの極が加盟しています。ITER 機構は ITER 建設、運転を行うための実施主体として設立されました。ITER 協定の加盟国は、それぞれ分担する ITER の機器を、それぞれの国内機関を通じて物納することになっています。日本政府は、ITER 協定の発効時に、原子力機構を我が国の国内機関に指定しました。原子力機構は、我が国が分担する物納機器を調達すると共に、日本における公募の窓口として、ITER 機構による職員公募の事務手続きを支援しています。

Q: 応募するためには何が必要ですか？

A: オンラインでの応募フォームへの入力、および Resume（履歴書）と Cover Letter（添え状）の提出が必要となります。JADA では、この応募書類の英文確認も実施しています。

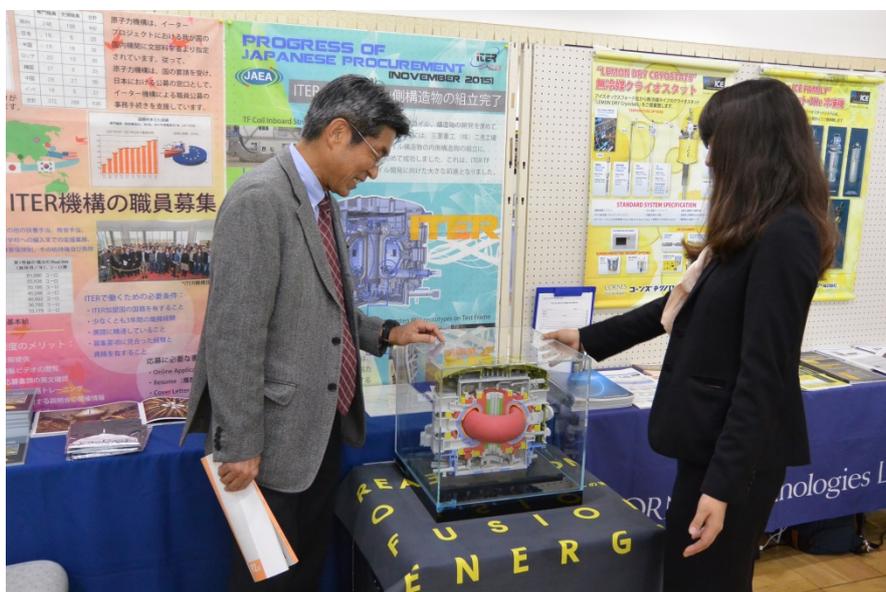
Q: ITER 機構では、何人くらい日本人が働いていますか？

A: 日本人は、専門職員（経験のある技術者・研究者）19 人、支援職員（秘書、CAD オペレーター等）6 人の計 25 人が働いています。（2015 年 10 月末）

Q: ITER サイトの建設状況はどのようになっていますか？

A: 2012 年に PF コイル巻線棟、2014 年にはクライオスタット作業場、及び本部ビルが完成しました。現在は、トカマク複合建屋や組立建屋の建設が進められています。（右写真）





展示ブースの様子